『逆説の古典』

大澤 真幸／著　　朝日新聞出版



古典が与えてくれるもの

本書で言う「古典」とは、著者が若い頃に読んで感動し、すべての人に読んでもらいたいものを指す。思考の普遍性から、思想哲学の名著を読み解く一冊。

『世界で1番かわいいお菓子』

こぐまいたん／著　　ワニブックス



かわいいお菓子全60種類のレシピブック

それって作るのは難しいんじゃ…いえいえ。お菓子作りが苦手な人向けの簡単レシピも載っていますよ。一度作ってみてはいかが？

『語学の天才まで1億光年』

高野 秀行／著　　集英社インターナショナル



あなたなら語学をどう歩く？

破天荒な探検家が夢見る、奥地への探検。必要なのは語学力？！彼が感じた語学の魅力とは？語学学習の息抜きに。

『いますぐ知りたいお金のしくみ』

盛永 裕介／監修　　マイクロマガジン社



10%引きと10%ポイント還元どっちが得か知ってる？

お金の稼ぎ方、貯め方、増やし方。使い方に守り方、具体的に教えてくれます。知ってて損はないことがいっぱいです。

『消えたモナ・リザ』

ニコラス・デイ／作　千葉 茂樹／訳　　小学館



一体、どうやって？

ルーブル美術館から、モナ・リザが消えた…。誰がどのようにして持ち去ったのか？いろいろな憶測が飛び交い、注目を浴びることになったモナ・リザの行方は。

『海のうた』

左右社編集部／編　　左右社



三十一文字（みそひともじ）の海

潮の匂いや波音までも感じさせる装丁。
ページをめくると、あふれだす海の思い出。
短歌ってなんだか難しそう…
そんな人におすすめしたい、海の短歌アンソロジー。

『正しく疑う』

池上 彰／監修　　Gakken



あなたの見ているそのWeb情報、正確ですか？

情報を誰でも発信できる今だから、うまく付き合う方法を知っておいて損はありません。これからの世界を生きるあなたにオススメですよ！

『ものがたりの家』

吉田 誠治／著　　パイインターナショナル



あなたはその家を見てどんな物語を想像する？

物語の世界に登場しそうな家々を描いたイラスト集。
ページをめくるたびに新たな世界が広がります。

『3倍速ドッペルゲンガー』

久米 絵美里／著　　アリス館



ドッ禁開幕、どうなる結末

だいたいの未来を天気予報感覚で予測できる「ドッペル再生」。その使用禁止＝「ドッ禁」を、いちばん長く続けられるのは誰だ？　高校生5人の挑戦が始まる。

『6カ国転校生ナージャの発見』

キリーロバ・ナージャ／著　　集英社インターナショナル

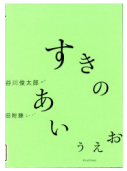


ナージャと一緒に世界の学校を体験しよう！

学校で使うのはえんぴつ？ペン？学校の座席のカタチは？世界の学校の違いにきっと驚くこと間違いなし。

『すきのあいうえお』

谷川 俊太郎／ぶん　　ブルーシープ



すきなものをあつめたよ！

谷川さんがすきなもの、すきな言葉を、「あ」から「ん」まで順に、集めました。あなたのすきなものは何ですか？
一緒に考えながら読んでみよう！

『ほたるいしマジカルランド』

寺地 はるな／著　　ポプラ社



遊園地をめぐる、人々の想いの物語

大阪のとある街にある老舗の遊園地。そこには、日々悩みを抱えながら、お客様の笑顔のために働く従業員たちがいます――お仕事小説。

『かたちには理由がある』

秋田 道夫／著　　早川書房



プロダクトデザインという仕事

信号機やカトラリー、日常の中に何気なく溶け込む品々。よく見る、よく使うモノにもデザインが施されています。かたちの理由に迫る一冊。

『世界で最後の花』

ジェームズ・サーバー／作　村上 春樹／訳　　ポプラ社



戦争の終わり、平和の始まり、そして戦争の始まり

戦争の後、文明は滅び、人間はすべてを失いました。
でもある日、若い娘が世界に残った最後の花を見つけました。

『光の粒が舞いあがる』

蒼沼 洋人／著　　PHP研究所



思い切ってストレートを打ちかえしてみた

母子家庭で家事に追われる心愛と、学校に通わずボクシングに励むこはく。夢や憧れより、もっと近くてまぶしい「こうなりたい」を描いた作品。

『この本を盗む者は』
深緑 野分／著　　KADOKAWA



おとぎ話、幻想世界…本の世界を駆け抜ける！

本のまち・読長町で膨大な本を有する御倉館。本が盗まれると、町は盗まれた本の世界に変わる。町を取り戻すため本泥棒を捕まえろ！

『プラスマイナスゼロ』
若竹 七海／[著]　　ポプラ社



不運な才女と不良娘と歩く全国平均値

とある出来事から仲良くなったテンコ、ユーリ、ミサキの三人が最近よく遭遇するものは、なんと、死体!?　凸凹トリオの高校生活はどうなる!?

『屍人荘の殺人』
今村 昌弘／著　　東京創元社



ミステリーと×××で密室殺人

想定外の理由から脱出不可能になった館で起こる殺人事件。
生存者を狙うのは人か×××か！？

『雨ときどき、編集者』
近江 泉美／[著]　　KADOKAWA



壁を越えて届けたい本がある

「ドイツ人の父に自身が書いた日本語の本を読んでほしい。」という亡き担当作家の遺言をもとに、編集者の真壁は仲間と共に翻訳と出版に挑む。

『「好き」の因数分解』
最果 タヒ／著　　リトルモア



最果タヒがおくる、愛の読み物。

「ミッフィー」「古畑任三郎」「食べ放題」…詩人の最果タヒさんが、自身の好きなもの48個を、さまざまな文体・視点で綴ったエッセイです。

『九年目の魔法』
ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／著　浅羽 莢子／訳　東京創元社



記憶と違うその訳は？

過去の出来事と自分の記憶が違う…。１９歳の少女ポーリィの大事な九年間とは？英国の物語詩を鍵にした、魔法息づくファンタジー。

『スタートボタンを押してください』
ケン・リュウ／[ほか著]　東京創元社



テーマはビデオゲーム

遊び心あふれるSF作家たちによる、紙の上のデジタルな短編集。そこに求めていた冒険があってもなくても、ゲームはすでに始まっている。

『ピアノ』
芥川 龍之介／著　LOWRISE／絵　汐文社



誰もいない廃墟となった家から聞こえるピアノの音。その正体は？

文豪・芥川龍之介の作品を美しい絵本で楽しめます。若い読者向けに文字表記を改めているので、授業の近代文学はちょっと…と思った人も読みやすいはず！

『鳥になって感じてみよう』
ティム・バークヘッド／文　キャサリン・レイナー／絵　化学同人



鳥の世界を知る

わたりどりは、なぜまよわずに目的地まで飛べるのでしょう？生きるために特別な進化をとげてきた鳥たちの、ひみつを紹介します。



10代のHondana

10代向けの本の紹介リストです。
堺市の図書館司書が、新しい本から
名作まで様々なジャンルの
本を紹介しています。

堺市立図書館のホームページや
X(旧Twitter)でも
本の紹介をしています。
次の更新をお楽しみに！

＼「#10代のHondana」で検索！／

堺市立図書館
ホームページ

堺市立図書館
X(旧Twitter)

堺市立図書館　令和８年３月発行